No. 563 SEMANARIO DE S. PAULO 13-FEVEREIRO-1931

聖州報
São Paulo
Semanario de S.Paulo
Rua Piratininga, 4-95,'4-73
Caixa Postal, 58 BAURU
Director e Redactor
ROCRO KOWYAMA

ASSIGNATURA	
Anno	28$000
Semestre	16$000
Trimestre	8$500
Mez	3$000
Semana	$800

購讀料 一年前金二八〇〇〇 全後金二六〇〇〇
廣告料 一段一回二〇〇〇 半段一回一五〇〇〇 四分一段一回一〇〇〇 全段一回三〇〇〇 全二段一回五〇〇〇
社主兼編輯人 雲山 大郎

社説

補助金下附病

在バウル帝國領事館濱口領事は先日北西線リンス町日本人會に汎リンス日本人會を組織しろそうしたら領事館の人件費からそうしたら領事館の人件費位は補助してやらうと、内命を傳へたので、リンスでは汎日本人會を組織し、有給の其役員を置いた。濱口領事は汎リンス日本人會を以て北西線各驛日本人會を組織させる積りであらうか。

然らずんば、北西線各驛及其他管轄區内の、他線驛日本人會團が常任理事及常任書記の俸給も領事館へ申請した場合、他驛にも人件費を支出してやる可きである。

北西線丈けでも電なる邦人集團地の驛を拾五ケ所とする。其〳〵が汎日本人會をリンス驛同樣の組織の基に設立する。

汎リンス日本人會に年拾コントス人件費を下附するとして、他驛のにも同額とすれば、年百五十コントスの人件費が、バウル領事館から出る事になる。

これ丈けでなく、在バウル領事館管轄區域は、バウリスタ延長線もあり、ソロカバナ線の一部もある。そこには日本人の大集團地が已に各日本人會を組織して居る。彼等も會の人件費を濱口領事に要求するであらう。

それが尚拾五ケ所あつたとする。在バウル帝國領事館の邦人會に下附する人件費丈けが、年三百コントスである。

下さるものは夏も何んとかだ汎リンス日本人會のみでなく、各驛日本人會の人々も、濱口領事に會の人件費を〴〵〴〵申請するがいゝ。

汎リンス日本人會のみが、在バウル帝國領事館の、おたから息子じやあるまい遠慮無用だ。已に養毛に入つて居るとは云はぬ。疾患はまだ初期だ。

病名は補助金下附病と呼ぶ。在バウル日本帝國領事館領事濱口光雄の病名である。

斯くの如き、病患によつて、吾々母國の親兄弟の貧乏納稅人等は、一層血の涙や、血の汗を搾らるゝのだ。

皇后の宮御慶事
三月早々の御豫定

皇后陛下は御懷妊九ケ月目にわたらせられるが、御慶事は三月早々の御豫定で既に御產殿の準備とゝのい、今はただお芽出度き日をまつのみとなり御乳人の選定も發表を見るはずである

都だより

丘の人

▲帝政末期の財政

左の一文は過日「コレイオ」紙に現はれた、エイトール・リマ氏の「新共和國」と云ふ文章の中から、われ〳〵にもつとも興味ある部分のみを要譯したものであつて、假にこれを「帝政末期の財政」と題した

× ×

△「ブラジルに於ける共和政はその第一歩に於て重大なる失敗を敢てした、民衆の心理を度外視した單なる軍隊の反亂から生れ出た新政体には、國民は一切の期待を持たなかつた。

當時帝政に對しては全國民にさしたる反抗の色は見なかつた、皇帝(ドン、ペドロ二世)は總明にして威望高く、未だ嘗て何人も受けた事のない程大なる國民的崇敬があつた、民衆的聲望があつた。

國民は滿足して居た、國家は日益しに隆昌に赴いて居た、官廳には道義的精神充溢し、政治習慣は益完成の域に赴いて居た。

帝國はあらゆる權利を認めた無論反帝政の宣傳の自由さへ許して居た、選擧はもつとも公正に行はれ、當時の人材の名譽をはづかしめなかつた、そのもつともいゝ例證は、國務大臣が代議士選擧に慘敗したと言ふ事實である。

當時爲替は二十七であつた、(二十七とは一ミルが二十七ペンスと言ふ事で、一傍即二百四十ペンスの價値は二十七で二百四十を除すればいゝ事となる、即當時英貨一ポンドの時價は九ミル弱に過ぎなかつた、しかもこれを現在の五ペンス弱なるものと比較する時は、何人も感慨なきを得ない筈である)

紙幣の流通高は頗る僅少で、産業は完全なる發達を遂げて居た。千八百四十八年ペルナンブコ革命があつてからまさに四十年完全なる平和の時代がつづいた。

革命が突發した千八百八十九年十一月十五日の朝には、ブラジル國はその繁榮の表徵として次の樣な財政狀態を示し得たものであつた。

國庫所有現金	七五二二コントス
國立銀行	二六七二
敦倫財務官	二一三六二
北米へ銀貨買入のため	二九九五
内國債より	六五〇〇〇

(一ミルを假に一圓として計算あれ)

この他政府はブラジル銀行より十ミルコントスの、融通權あり、バンコ、ナシヨナル(國立銀行)よりも五ミルコントス丈の融通權を持て居た上、對歐渉との取引にはその上五百萬ポンドまでの融通權を持つて居た。

共和政は突如として宣言された、十一月十五日革命軍の總師デオドロ將軍が内閣を仆し、首相オーロ、プレット子爵を捕へた時には帝政の倒壞は未だ決して居なかつた、デオドロ將軍はその時首相に向つて「皇帝の特權の尊重と、新内閣の閣員名簿の奉呈を出來るだけ早くいたす可きを約した。

共和政の組ペンジヤミン、コンスタンテすら十一月十五日の夕、群集に向て演說した節にも共和政体に就いては一切語らなかつた、ただ國會を召集して政体を決めると言ふ事だけは宣言した。

その夜デオドロ將軍の宅で行はれた會合ではじめて、新政体が採用されたのだ。

かくて共和政治は國民向に一切その下地なくして植付けられた、從つて共和政府を運用したものは無論モナルキスタの一部であつた「勝利の車」に驅け寄つたアデリスタ、デ、ウルチマオーラ(Adherisias de ultima hora)であつた。

しかも帝政時代の主要なる人物は一切共和政に參與する事を拒んだのである。」

南の旅

淺見哲之助 (六)

「リオグランデ」

砂漠のやうな、南大河州の平原から遠慮用捨もなく、吹きつける風と、大西洋からの突風で私共を乘せた船は、盥の中の玩具の船が、惡戯坊主にかきまぜられた時のやうに搖れた。ベンキの臭ひが鼻についたと思ふたら、私も生れて始めて、小間物屋を開業して了つた。

行つた事はなかつたが、德富健二郎の「新春」で知つた、あの男性的な九十九里ヶ濱の風景を勝手に想像をたくましくして、南大河州の此の大砂原、此の大西洋の大波濤と無茶苦茶に讃美の詞を呈してゐた私が、船酔ひして見ると、それらが一切苦痛の種に變つて了つた。私は、どこまで得手勝手に生れた人間だらう。何んの罪もない腕時計のセコンドの小刻みの音すら、たいきこわしてやつてもちつともおしくないやうに、まどろしくひびいてくる。一刻千秋の思ひでリオグランデに早く着いてくれるやうに願つた。生れてこれ程長いと思つた一日は、すくない。翌朝未明、彼方遠くに電燈の明滅する、リオグランデの町を望み見た時は、大きく形容するなら、コロンブスが永い航海の後新大陸に接した時のやうな歡喜。船はラゴア、デ、パットスに入つてから、油を流したやうな水を押し切つて進んだ。

船が港内に入つて百雀中の一樣のやうに、鉄筋コンクリートの堂々たる建物が目に映じた。ナンドス以來始めて、建物に對して堂々といふ小形容詞を付するものに接したわけだ。それがスウイフト會社の屠殺及加工場である事がすぐわかつた。此処から毎日、幾百の牛の生靈が一天國か地獄かに旅び立つのかと思ふと坊主臭くも合掌してその冥福を祈つてやつた。船が岸壁に横付けになつた事はナントス以來始めてだ。大きいアルマゼンが十三並んでゐた。私が未だコチアで芋作りをやつてゐた時に、「リオグランデのバター」の作不作が芋の相場にひどく影響して、ある時は隨分恐怖を感じた事があつた。それがなる程と肯れる程、どのアルマゼンにもセボラと芋で一杯だ。

船酔ひ看者は、船が動作を靜止するや否や、最先に飛下りて、宛もない町の中を歩き廻つた。今を去る四百〇八年前、葡人マルチン、アフオンスが此の地に市の礎を築いた。たが赤い血汐を多量に持つ多情なるラテン系の彼れは「寂漠」詩の如き南大河州の風物がびつたりしなかつたのだらう。無のセレナーデを唄ふヴヲロン一ちようかつぎ一族眷屬を引き具して、北上し現在のサントス附近サン、ビセンチに居城を備へ、殖民を開いたのが現在のバウリスタの隆昌を見るにおよんだのだ。其の后この地には北歐民族が移つて來たのが、今日のリオ、グランデを構成するに至つた。

人口五萬余り、サントス以南最良港として、歐米通ひの船が自由にその巨体を岸壁に横付けることが出來る。活氣に富んだ町である。

× ×

美人見たければペロタに行くべし

鴨川の水で顏を洗ふ京都の美人は、地方から行つた者が、驚くほど肌理が細く、生地が白い。ペロタには鴨川は流れてないが隨分廣くブラジルを旅行した私が、これほど精練された麗人の多い町は始めてだ。と驚くほどだから想像してもらいたい。

一九三〇年のミス、ブラジルを生んだ町だ。大統領の寫眞と一処に、ミス、ブラジル讃の寫眞が、大低の寫眞屋に於ける美人の行進に、女護島に往まはされたやうな、幸福に陶酔して、私の魂はまぬけのからとなつて了つた。お蔭で自稱サンパウロッ子が、こんな田舍に來て田舍者扱ひにされたのは光榮の至りだ。

大農米作の集散地丈あつて、市中は隨分活氣がある。人口十萬電車電話、水道、下水等々、近代都市の設備はほどこされてゐる。

「コンセルト」

ペロッタを出た船は、最終のコースとして、どろ〳〵の泥水の鴨の湖(ラゴア、デ、パット)の間を、ポルト、アレグレに向つて、波をけつたてゝゐる。

馴れた船長でも、此のコース丈はパイロットと代つてゐる。兩側の砂原から流される砂で、いくら掘つても〳〵深くならない砂取機械船が通つた后に浮燈台が澤山浮べてある、その間を縫ふやうにして船は進んだ、船の旅も、搖れないなら是れほど樂なものはない。琵琶湖の遊覽船にでも乘つてゐる、月がのぼつて美しい。

天幕の張られた甲板で、昨日まで真青になつてゐた船酔看者共が、今日は別れのコンセルトを始めた。ブラジル人のアヴ、マリアの一曲が終つて私の番となつた。

何をやらうかと考へたが、うまい考へが浮ばない。日本人としてやるからには、つまらない物では國辱だ。日本の藝術の鼎の輕重が問はれる。國際場裡に立つ者、又責任重いかな。

外國の借物は駄目と思つたので純國產、越後獅子をハーモニカでやつた。月光斜に甲板を照し鴨の湖は銀鱗を畫いて居る。身を外國船に托した、放浪の一大和撫子の奏へる調べが、或るひは高く、又低く、靜かな空氣をふるはして、聽者の肺ふに强くしみ込んで行く。立派な一つの体奏へ終つた時は、アンコールが永くつゞいた。萬更惡い氣はしなかつた。

所謂される儘、面の皮を厚くして、スイット、ホームスイットを又やる。

「貴方、新敎徒ですか?」

吹き終つた時、リオグランデから乘り込んで來た、一伯人が私に質問した。

「さうです。貴下は?」

「私もさうです、貴下の今やつたのは讃美歌でせう」

「さうです」

こんな會話から二人を十年知己のやうな間柄にしてしまつた。思出深い音樂會であつた。

月は何も知らないやうに銀波を鴨の湖に寫して居る。

(九月六日)

大阪商船會社

◎日本へ一番早く着く優秀な新造客船
◎北米經由サントス日本間六十日に短縮
(命令定期毎月一回)
◎日本へモンテビデオ丸 三月十二日サントス發
◎日本より ラプラタ丸 三月十四日 リオ發 三月十七日サントス着
代理店 Santos: Houlder Brothers & Co. Ltd Rua do Commercio, 35
S. paulo: Theodor Wille & Co. Rua Libero Badaró, 52 S. Paulo
◇御歸朝客には神戸から御郷里の内地各港迄弊社船無賃乘繼の特典を設けました、但し沖縄行は各等五割引。
◇日本より家族御呼寄船賃支拂便法は左記へ御照會願ひます。
サントス駐在員 酒寄守
Caixa Postal. 388 Santos

Shizuo Hayashida & Magalhaens, Ltda.
Compradores de Café e Cereaes com Machina de Beneficiar Café e Fuba
Mirandopolis
Estacão Lussanvira
株式會社 林田鎭雄
ドットル・セザ・マガリエンス
北西線ルッサンビーラ驛 ミランドポリス
珈琲精撰工場 並雜穀買入
珈琲精撰の御用命下さい 尙其委託販賣も致します 精撰工場内にて現品即金賣買も致します 御希望によつては珈琲コーコ一俵に對して二ミル乃至三ミルレース程度の前貸付も致します

Missão Japoneza do Brasil
R. Galvão Bueno, 55-57 Caixa 2-X SÃO PAULO
財團法人 聖州義塾
寄宿舍 夜學校 日本語學校 商語通信教授
主任 小林美登利
聖市ガルボンブエノ街 電話七—五二八七 八五—九四
サンパウロ教會 毎日曜日 午前八時半 午后七時
大人集會 毎日曜日 午前八時半 午后七時

爲替 正金銀行 リオ支店取扱 邦貨一圓に對し五ミル六六〇レース

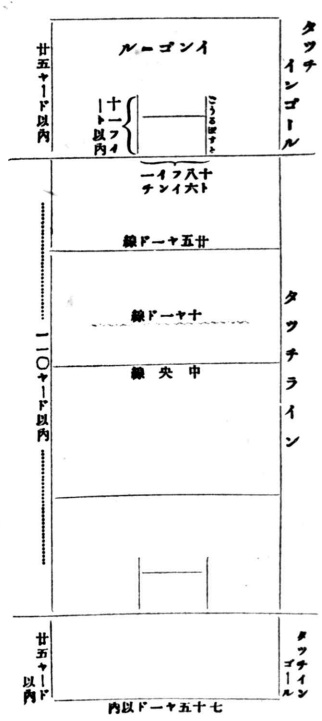
THE YOKOHAMA SPECIE BANK LTD.
RUA DA CANDELARIA, 23
CAIXA, 380
RIO DE JANEIRO
この横文字を手紙の表にはられたし
郷里送金
一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可致候。
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ御送り申上候。
三、金子はコンバロル郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de S. Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de S. Paulo へ御拂込被下ても差支無之候。
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下度候。
預金
(郵貨定期預金利息六ケ月以上年四分五厘
伯貨定期預金(六ケ月以上年四分五厘
(壹ケ年以上年五分
伯貨當座預金(小口)年四分
▲預送金用紙は御請求次第直ちに御送り可致
御不寄の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
▲預金通帳は書留郵便にて御送附可申上候。
御申込の際は最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に御座候
横濱正金銀行
リオ、デ、ジヤネイロ支店

CASA TOZAN
MIZUCAMI & CIA,
COMMISSARIOS
Rua Cidade de Toledo, 25 —— Caixa Postal, 911
Endereço Telegraphico "TOZAN" — Telephone, 2837
— SANTOS —
サントス市 珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミツカミ・イ・コムパニア
郵函 九一一号
電話セントラル二八三七号
電信略号「TOZAN」
弊店取引方法は御照會次第御回報申上候

ラグビー蹴球の見方

ビリグキ 石光生

◉ラグビー競技場の圖解



ラグビーはフオアワフド(F.w)八人、ハアフバック(H.B)二人、スリイクオタアバック(T.B)四人、フルバック(F.B)一人、都合十五人宛が一組となつて敵味方に分れて行ふ競技である

然し此の競技に限つて如何なる事情があつても退場したものゝ代りに補欠を行ふ事は絶對に許されない

▲ライナップ

競技者の位置は次の樣な陣形を作るが普通である

△△△

定期戰を目前にひかへた母校ラグビー部の主將虎公事、仁ちやんへ!!

ビリグキ 牛公より

嗚呼狂なる哉、狂なる哉。ベンチに迫へた先輩の悲壯な顏、勝つた方がエヽ……、さうだ、勝つた方がエヽに決つてゐる。ドロツプ、スタンドにあがる歓呼。球は晴れたる碧空に躍つた。

最後の一蹴空し!!

あゝ

スコア、ボールドを見よ!

「3●0」と云ふ數字が白く浮出してゐるでは無いか? グラウンドの中では、長崎高商の學生と先輩が相擁し、相抱いて泣いてゐるでは無いか、男泣きに泣いてゐるでは無いか、泣け! 男だ、泣かずに居られるか。

僕は涙——涙が止め度なく流れてゐる、口は物が云へない、五體はただ皆に對する申譯けなさから震へてた。

打ふしてゐる、泣いてゐる、長崎高商の學生だ、先輩だ。

無理もない、春風秋雨二十年、榮譽ある母校の歴史は無殘にも大きな汚點を公衆の面前で叩きつけられてしまつたんだもの、然もその當面の責任者は僕ぢやないか? 僕は今でも眼を閉じると、あの時の無念で、敗殘の憂目、先輩の姿等が髣髴として見ゆる、新しい涙も滲み出す。

或る新聞の知きは僕が九大の主將有馬君の妹とエンゲーヂの間柄で有るから、十分な活躍をしなかつた人ではなかろうかとつまらん批評すらしてゐた。但し僕は大事な定期戰を前に迫へて柔道部の悲望もだし難く(僕も矢はり柔道部員の一人だつた關係もあつたけど)前々日の對六高柔道戰に出て足を負傷してた爲、得意とするショートパントに攻擊力が減り平常通りの活躍が出來なかつた事は事實だけど、僕とて愛校の至誠に燃へてゐる若者だ、殊にチームの主將としての責任が有り、人一倍に母校の歴史を思ふ情熱家だもの

戰の前に女が何か? 戯が何かそんな事は結局浮世の煩いにすぎない人だ。その當時の僕がチームの主將としてどれだけ、勝たんが爲の計畫に、頭を痛めたか、深更猶ほ眠りを成さざる事幾多だつた事は、君がよく知つてゐてくれたから、あの當時、僕はこうした一新聞の批評なんか問題にしてゐなかつたけど……、それよりも當時、もつと〳〵運命の皮肉、運命の惡戯は御互の上に蔽いかぶさつてゐたぢやないか?

去んぬる年、大毎主催の全國中等學校ラグビー大會の優勝戰に寶塚原頭に於て敵方京都一高の主將として相見ゆた君が今や同じ長崎高商の選手として僕と相共に九大に當れば、曾ての日同志肚のクロバの同チームの許で僕と共に副將の位置に座りし君をして、無念の涙を呑ました有馬君を敵九大の主將として迎へやうとは何んたる皮肉だ! 是だけの皮肉が無の中にあらうか

然もを今年の定期戰たるや、君にとつては昨年の復讐戰であると同時に往年の寶塚原頭の敵打ちだ。

中學時代の戰友として、今年も矢張り相續いて九大チームの主將をしてゐる有馬君には個人的に何等惡意はなく、現在も文通はしてるが而し仁ちやん!

僕は大きな立場から長崎高商を愛すし長崎高商血と汗の先輩の流した二十年の歴史を想ふ!!

橄欖花咲く丘の上
覇者の譽れに憬れて
學びの道にいそしみし
高商三年がなつかしや
小雨降る夜に窓に依り
高商三年の數々を
想い出しては泣くばかり
只追憶の涙かな……

仁ちやん!

申すまでもないが、彼有馬君はドッヂボールに得意だから、チームの編制に關して差出がましいが。輕快な安中をフライハーフに廻して有馬君をコータさし(有馬君は今年も多分スクラムハーフをやるだらう——)山口池田等の老巧で十一秒フラッシの連中をセンター、スリーコータに入れて迫にさし給へ。事實有馬君の手にボールが完全に渡つたら、うるさいから、安中やバックローにオフサイドに、なる位い專念つぶしに係る方がいゝよ、九大のは其の上スリーコータに今年は合田、中出等の超努級駿足が居るから……

仁ちやん!

かうした陣容を整へてる九大チームに對して然も敗殘の後を受けて……敗軍の將師として只復讐の二字の爲に、死んでも勝たなければならないと日夜一心になつてる君の立場は僕には分りすぎる位分つてるよ! 多くは云ふまい、一番若いラグビー部の先輩として只簡單に「しつかりやつてくれ」それだけ云つてをく。

此の手紙が着く頃はあの浦上河の堤前の樹々に凍る樣な寒風の渡る夕暗の頃、疲れと空腹にペコ〳〵になつた總勢に樂からうし、夕飯の味と暖かさを思ふて毎夕都歌を歌い乍ら合宿に引りの穴がある。これが奴さんの巣窟らしい。私と動物と穴とは丁度不等邊三角を描いて居るが穴は私と動物との距離よりも遙かに近い。

よし、あの穴に走つて行つて私は突として走つた。果然奴さんも穴に退却したが、私の足と奴さんが穴にその首をのぞくのが殆と同時であつた。私は力强く思へきつて甲羅を踏んだ。動物の根强いじり〳〵とした驚くべき力、負けてたまるものかと云ふ私の全身を集中した力、ともする此奇怪なる動物が土穴のなかにめり込んで行くのではないかと云ふ樣な感を起こさしたされば云つて、どう云ふ防禦戰術があるかを知ることが出來ないので、どうしても手をかける危險を冒することが出來なかつた。

幸に私は電話線修理用の針線を持つて居た(この電話線は至極細いものである)こう思い付いた時には、私に余有が出たときで、もう勝利は眼前にあつた私は針金で、ぐる〳〵と此動物を縛り上げてしまつた。而も何となし物恐しい氣が先立つて、馬の鞍に釣り下げてからも尙不安な念を取り去ることが出來なかつた。

○正誤●蝗のとんで來た月日に十二月二十日あるは十月二十日の間違である

文藝

椰子の葉風

伯國移民の側面史

南樹

(投稿歓迎)

●珈琲園生活

蝗が飛び去つてから急に農園は閑散になつて來た。毎日〳〵雨が降りつゞいて、珈琲樹の若々しい新芽が暴昧かゝつた古る い下葉の上に、礦裝者の美しい冠の如く繁り合つて來た。コロノ達は新らしい希望をかけて、再びさゝげ豆や唐黍の種子蒔きに、大きな木綿張りの洋傘をさして出て行つた。

流石にいそがし屋の支配人メネゴニ氏も折り〳〵事務所の戸口に立つて居るのを見受ける樣になつた。各都落の監督達も蝗谷がチビリサの低地へカーブを退治の頃迄は毎日顏を出したが、この頃は土曜日に來る以外、滅多に其姿を見せなかつた。從つて事務所の小使さんにも多少の骨休めをする時間が出て來た。薄記掛のコエリョさんと、書記のグレゴリオさんは一所になつて、

「ススキさん、ススキさん」

能く私を呼んで、アルミランテ、トーゴーとか、ポルト、アルツールとか日露戰爭の話に花を咲かした。私も自分ながら吹き出す樣な不完全な伯語で、これに應答した。

しかし事務所の小使さんには、矢張り厭やな仕事は絶ゆなかつた。

大降雨、暴風などのあつた折りは能く事務所と停車場をつなぐ電話線が折斷して不通となつた。私は馬に乘つて濠々たる雨のなかをついて珈琲園内に建つて居る電柱を見廻つた、ブラジルの生活に新來者の私は雨に濡れることが善くないと云ふことは誰も教ゆる者も無かつたから、頭から顏へ、首筋から肌へ瀧の樣に流るゝ雨水を物の數とも思はなかつた。實際私の身体には何の異變を起さなかつたし、こうして二十年の間に頑健に鍛上られて行つた。

その日は雨後の晴れ渡いた朝であつた。私は例の如く電話線切斷を發見仕樣と、馬の上から一歩一歩注意の眼をはなさなかつた。電話線はシュンボラヅの谷がチビリサの低地へカーブを作る所に兩斷されて居た。

馬を飛下りんとした私は、そこに異樣の怪物の蠢動するのを發見して、思はずアッと叫んで棒立ちになつた。

まばらな赤い針の樣な毛のある如何にも强堅な甲羅—鎧を着た樣な小犬程な動物が、じやつと地上に釘づけされた樣に這つて居る。小さな首と可愛らしげな耳のあるのを見れば、此奴人間に喰へついてくる程にも見ゆない。

「よし、生捕つてやろう。」

私は心のうちで、こう叫んでさも死せるものゝ如く、だまり込んで注視の眼を放つた。好さんそろ〳〵這へ出して來たが、私が少しでも身動きをすると、すぐ逃足を見せる。なかなか油斷がならない。

能く見てると、この動物から二メートロス位な所に五すばかりの穴がある。これが奴さんの巣窟らしい。私と動物と穴とは丁度不等邊三角を描いて居るが穴は私と動物との距離よりも遙かに近い。

よし、あの穴に走つて行つて私は突として走つた。果然奴さんも穴に退却したが、私の足と奴さんが穴にその首をのぞくのが殆と同時であつた。私は力强く思へきつて甲羅を踏んだ。動物の根强いじり〳〵とした驚くべき力、負けてたまるものかと云ふ私の全身を集中した力、ともする此奇怪なる動物が土穴のなかにめり込んで行くのではないかと云ふ樣な感を起こさしたされば云つて、どう云ふ防禦戰術があるかを知ることが出來ないので、どうしても手をかける危險を冒することが出來なかつた。

幸に私は電話線修理用の針線を持つて居た(この電話線は至極細いものである)こう思い付いた時には、私に余有が出たときで、もう勝利は眼前にあつた私は針金で、ぐる〳〵と此動物を縛り上げてしまつた。而も何となし物恐しい氣が先立つて、馬の鞍に釣り下げてからも尙不安な念を取り去ることが出來なかつた。

○正誤●蝗のとんで來た月日に十二月二十日あるは十月二十日の間違である

聖歌報壇

俳句

今川春柴

△一月一日の朝發句
元日や先づさかずきの一つより
△元日早々より床に臥す友
元日や夢路をたどるともが顏
△雲の巣
くものみね又崩れては形をかへ
むく〳〵と雨を持ちよる雲の巣
雲の巣崩し風はいづくにや
崩れては又崩れては雲のみね
遺鳳の蛙に似たり雨の池
桑原が此處桑原だと夏の雷
そちらへ降らばこちらへも降れ夏の雨
夏の鳳鳴いたてば來くなり
人よりも此處も涼しや木蔭殿
水打つや其處のけ〳〵よ雞のひな
一天雲なく秋空の如く月澄居たれば
しばらくは岸をはなれぬ日傘哉
くものみね川の底行く流れ哉
今朝も見ゆ浮世は草の露よりも

詩

北南青

蛙と疊つた月夜

世界のすみかちうすら赤い蛙の万書樂
くもをくゞり風をよけ

愛兒を失ひて(中)

アリアンサ 黑田つる子

私共夫婦の生命を十年づゝ縮めても、この幼子の生命をそれだけ伸し給へと、どんなに祈つた事だらう。此方で思ふ樣には肉の付は遲く現狀維持で二週間ばかり續いた。胃腸が弱つて乳を吐いたり下痢したり、咳が出たりして苦るしみ通した。死ぬ前の晩は創傷からの出血が甚しかつた。手足は冷い。いつもこんなに泣いたことはないのに今晩はなくあゝ無智の若き母は對々ど泣き聲へすら立てない。脈は苦るしくなつて行く心臟衰弱とは氣が付かなかつた。脈にさわらうとしてもうるさそうにどうしても手を捕ませなかつた。出血の多いのは血行のよくなかつたんだらう。冷たいのは熱がないんだらう。泣くのは元氣が出たんだらうと、よい方にばかり思いまわしてゐた。

主人は何んだか妙な夢を見たといつも頑張つて、自分を自分で慰めてゐた。

朝になつてからいつもの樣子が變つてゐる。醫局迄半キロも水を吞ませる。最後の乳をと思へども昔ゼムつて力なし、主人は少しカフエを呑ませる。傍に居た主人の友人は「肉親の病氣の時は、誰がもう駄目だと云つてもまだ〳〵と望は失はないものだ。それでなくいくと看病はできないのだから」と仰言る。坊やの死は見へて居るつて仰言つたんだらう、然し自分達はもう一本注射したらと死ぬとは思はない。友人に醫局へ何のための今までの苦痛ぞ! 早くなほつて元氣になるといの間に坊やは父と母に抱へられて最後の息を引き取つたのだつた。

然し私はそんな事はない屹度いやされる。奇蹟的にいやされる

何んとなさけない事だらう變化が來たらすぐ知らせて呉れよとおかへりになる。

私はカフエの仕度に立ち主人が看護してゐた。カフエを持つて寢室に入ればもう虫の息、眼は一點を見つめて、ハア〳〵と吐く息ばかり。苦しそうじやありませんかと云へば、ねむくなつたんだらうと呑氣事を云ふ。視力はもうはつきりしない。お水をとてもおいしそうに吸う。

最後の乳をと思へども昔ゼムつて力なし、主人は少しカフエを呑ませる。傍に居た主人の友人は「肉親の病氣の時は、誰がもう駄目だと云つてもまだ〳〵と望は失はないものだ。それでなくいくと看病はできないのだから」と仰言る。坊やの死は見へて居るつて仰言つたんだらう、然し自分達はもう一本注射したらと死ぬとは思はない。友人に醫局へ何のための今までの苦痛ぞ! に自働車で走つていたとく。その間に坊やは父と母に抱へられて最後の息を引き取つたのだつた。

何ぞ飛び去つてから急に農園は閑散になつて來た。毎日〳〵雨が降りつゞいて、珈琲樹の若々しい新芽が暴昧かゝつた古る い下葉の上に、礦裝者の美しい冠の如く繁り合つて來た。コロノ達は新らしい希望をかけて、再びさゝげ豆や唐黍の種子蒔きに、大きな木綿張りの洋傘をさして出て行つた。

流石にいそがし屋の支配人メネゴニ氏も折り〳〵事務所の戸口に立つて居るのを見受ける樣になつた。各都落の監督達も蝗谷がチビリサの低地へカーブを作る所に兩斷されて居た。

馬を飛下りんとした私は、そこに異樣の怪物の蠢動するのを發見して、思はずアッと叫んで棒立ちになつた。

まばらな赤い針の樣な毛のある如何にも强堅な甲羅—鎧を着た樣な小犬程な動物が、じやつと地上に釘づけされた樣に這つて居る。小さな首と可愛らしげな耳のあるのを見れば、此奴人間に喰へついてくる程にも見ゆない。

「よし、生捕つてやろう。」

私は心のうちで、こう叫んでさも死せるものゝ如く、だまり込んで注視の眼を放つた。好さんそろ〳〵這へ出して來たが、私が少しでも身動きをすると、すぐ逃足を見せる。なかなか油斷がならない。

能く見てると、この動物から

創作

アカシヤの樹に殘る記錄

八月の花

秋には殘りなく枯れた褐色の病葉を潛びつゝ、又ある時は白い雪に蔽はれた樹の下に私の行く方を見守つて下さつた。

だけど悲しい思ひ出のアカシヤよ!

待つて待ち拔いた私と會へずに逝つて了まはれたあの日の母は、今何処の空よりか私を見てゐることか知ら。

叔母一家が南米に移住すると云ふ話を聞いた時私の胸は躍つた。

あゝ、今度こそは母の家で暮せると思つたからだ。

然し、それはぼんとうに糟喜びであつた。

或る日叔母が「靜ちやんも叔母さんと一緒に南米に行のね」と云ふと、叔母の姉も傍から涙ぐんだ聲で「ぼんとうに靜ちやんはよい子だから又南米に行つて、俊子ちやんのお守りをしてやつて叮嚀ね」と云ふ。その時私は何も云へず唯熱い涙が頰を傳ふた。

貴女は貧しい心に與へる清新な桌を持つてゐる

それで私の心は默々と哀しい愛の憂鬱に沐ちてゆくのです

貧しい心をもつて希求すると貧しさがなくなつて空ドウとなるのです

私は目の近くそびへてゐる森の高い樹をみつめてゐるのです

ぼんやりとなつかしくみ上げてゐるのです

風が吹いても私の心はゆるがないのです

青空ははり切つた山中の處女湖の瞳みです

無限の美と喜びを滿々とたゝへてゐるのです

高い樹の幹をつたつてそれを瞳憧れてゐる私の心はまづしいのです

そら高く朗らかに晴れた貴女の透明な思ひをと

暗い土の中からひそかに思ひ焦れて濕氣でじめ〳〵した腐つたクヨドウになつてしまつたのです

クヨ氣のやうに味氣ない透明にくろく淵々と波打ちまづしく美しく私の心は腐つてゆくのです

もう夢をみることも出來ないほど悲ナンなのです

【石筆塾社集】(第十七回)

天の川。西瓜。納涼

白鷗

更けし夜の曠野波なし天の川
落日のまだ殘り居る涼み哉
ノウ涼や瀧の飛沫の吹き流れ

南仙子

公園の鎮冷き天の川
大島のクモに流るゝや西瓜晴れ

汀打浪

銀漢や暮御歸る灯の見えずなり
白犬の歸天に寢たり天の川
夜店小屋盛めば銀河ありにけり
涼み閉ざんとするに行人水乞へり

十字星

いさゝかの西瓜愛でらる病後かな

愛橫

マドの灯の涼みの庭に屆きけり

川柳を募る

題隨意 締切二月二十八日

第四回トラホーム講習會開催廣告

講習會場及期日

【イ】三月九日より十二日まで パウリスタ延長線マリリヤ驛
【ロ】三月廿五日より廿八日まで ソロカバナ線プレジデンテプルデンテ驛
【ハ】四月廿日より廿三日まで モジアナ線リベロンプレート驛ホテルサンパウロ
【ニ】五月十八日より廿一日まで ノロエスチ線リンス驛リンス學園講堂

講師 齊藤等氏

▼講習生資格▲

小學校教師を主とし、各地方の事情により團体より推薦せられたる代表者

一、講習生の旅費は各團体の負擔とす
一、講習生に對しては講習期間滯在費を支給す
一、講習生終了者所屬團体に對して差當り必要なるトラホーム治療藥品及器具を無料配布す
一、講習生終了者にして滿一ケ年間實行の任に當りたる者に對しては

實行手當を支給す

尙ほ經費の都合上今回の講習生定員をノロエスチ線廿名、ソロカバナ線十名、延長線十名、モヂアナ線十名都合四十名、に限り出席申込者が定員超過の場合は申込順により採用す

此點御承知されたし

至急二月末日迄御申込み下さい

右廣告す

昭和六年一月

在伯日本人同仁會 トラホーム撲滅部

聖市 郵函 二九七六

老樹よ!

八ッの秋から二年の間私の小さな胸が如何に母戀ひしさに疼いて居たことか、知つて居て呉れるか知ら?

何故母は幼なかつた私を此の廣い世界の果に唯一人突き放したのであらう。今だに私の心深い所で歎くものがある。

母親と別れねばならぬ運命に置かれた自分を知つたあの時分の私は、小さな胸を震はせつゝ春の來るのを拒んだ。然し時の流れを止めることは出來ない。陰慘な灰色の空と後烈な寒氣に閉ぢ込められて居た北國の地には春が來た。軒の氷柱も日一日と細く短かくなつて行く、ヒタ〳〵と消え行く雪の下から黑い土に這ふて居る青草の芽を見出した時、人々はどんなに春を讃へたらう。自分に取つては悲しい呪はしい春であつたのに!!

私は今だにあの還へらぬ幾年前の昔に憧れて、果かない空想を抱き限りなき悲しみに浸たる策奇を弄ぶ運命は根こそげ私の望を奪ひ取つて了つた。一足一足と沈み行くばかりで如何にしても救ひ得ない底なしの沼に陷く樣な絶望に悲しみを通り過して苦るしみに呻めく夜は、アカシヤの木の傍から私をなだめては叔の家へ歸へした母と「來年はきつと行くから」と仰しやつた母の言葉に惱ませられることか。

懷かしのアカシヤよ!

母は今何処より私の成長した姿を見て居られることであらう。そして私は今暗い十年間の悲しみの涙を注ぐべく待つて居た駿いあの母の胸を何処の世界に求めよう。

(一九三一年元旦)

ジエツリーナ町で
一番安い店は
山下藤太郎商店

日本近信

貴院の空氣險惡で

正月早々肚痛の政府

問題の中心は代理首相問題

心細い幣原御大

年明けて議會再開を前に控へる政友會の前田米藏、鳩山一郎、森格氏に對して政府では松田源治氏が控へてゐるが太刀うちでは、ひけはとらぬとしても、幣原御大が憲法については不得手だからこの邊に政府の弱味が生ずるおそれがある

貴族院では憲法の大家花井博士が惡氣はなくも學者として一言なければならぬところ、前議會でも統帥權問題、宇垣陸相缺席問題等の憲法論でいぢめられた政府にとつて花井博士は大の苦手とならう

代理首相問題の次きはロンドン條約が難問題であり政友會では內田信也氏が專門的に研究してゐるし貴族院では井上清純子が眞赤になつてゐるといふから大いに火花を散らすだらう、幣原代理首相は當面の立役者でこの問題では「てこでも」動くまいしその上にロンドン條約については安保海相が控へてゐることだから鬼に金棒で右條約問題で政府が痛手を負ふことは萬なからう

霧社事件も面倒な問題で石塚總督責任問題が云々されてゐるがこれも同總督を辭職させれば問題はかへつて大きくするしやめさせなくを責任はとわれるし痛しかゆしのところである

政友會では幹部聯合協議會を開き政府攻擊五大綱目の擔當者を決定し議會再會まで各別に連日協議會を開くはずであるが分擔は

▲財政、經濟、逓信、交通
三土忠造、山本條太郎、前田米藏、大口喜六、東武、堀切善兵衛各氏廿四名

▲外交、國防、植民
植原悅二郎、內田信也、松岡洋右谷氏外廿名

▲內政、思想、社會政策、教育
安藤正純、田子一民氏外十名

▲言論、綱規
濱田國松、廣岡宇一郎、熊谷直太各氏外十一名

▲議會政治運用問題
鳩山一郎、島田俊雄、秋田清、秦豊助、牧野良三各氏

完成した政友陣

攻擊五部門を設け

一齊猛襲の意氣込み

黨員を各部に配屬して策戰

各派ではかく責任の範圍をひろげるとすれば、喜灣事件につきては松田拓相にも十分の責任あるとの論が行はれ拓相糾彈の聲があがる形勢である

石塚總督は上京してみたら自分の後任も決定してをり「親任官たる總督を過するにこの献立は何ごとぞ」と頭を曲げたが結局辭任して鳧がついたといふもの、政府では石塚氏だけの辭職にとめんとしたのが總務長官以下の連袂辞職にまで事件を擴大し霧社事件は政治的にさらに重大性を帶來り、貴衆兩院では松田拓相の責任を問はんとする狀勢なのでこれが對策に腐心してゐるが、衆議院では絕對多數で押通し、貴族院では遺憾の意を表し緩和策を講ぜんとしてゐる

新臺灣總督
太田政弘氏
任命の內情

石塚臺灣總督辭職に伴ふ異動は一月十六幣原代理首相が葉山に伺候して御裁可をあふぎ左の如く發表するはずである

臺灣總督に任ず　太田政弘
從三位勳二等
臺灣總督に任ず　石塚英藏
從三位勳一等
關東州長官に任ず　塚本清治
臺灣總督　石塚英藏
依願免官
臺灣總務長官　人見次郎
臺灣總務局長　石井保
臺中州知事　水越幸一
各通依願免官

塚本清治氏
まづは無難

太田氏の任命は民政黨內に適任なきためで太田氏は只植民地統治に經驗があるといふだけの理由でにん命されたものであり手腕力量については政府部內でも疑はれてゐる

塚本氏の關東州長官はかつて法制局長官や內閣書記官長を歷にんした事もありまづ無難の評がある

巴里より東京まで

無着陸の大飛行計畫

大西洋横斷の勇士コスト氏

春三月決行の旨巴里で發表

太平洋も横斷か

朝日新聞パリー特派員電によれば、昨夏大西洋逆飛行機横斷に成功したデュドネ、コスト氏は機體も同じ「クエスチョン、マーク」號をもつて三月早々パリー東京間無着陸飛行の意志ある旨を語つたといふ。同氏はさきに大西洋横斷の同乘者ペロント氏と共にパリー滿州里間無着陸飛行に成功して世界長距離記錄を保持してをり東京までの無着陸飛行は難事でない確心を有してゐるとのことである。なほコスト氏は東京訪問後東京桑港間の太平洋横斷の壯擧を試みる內意を有し着々準備をとゝのへてゐる

湯になる日本海

閻宮海峽を閉塞し

寒流の南下を防ぐ

日本海各港を不凍港にする——日露兩國で計畫か

露領サイベリヤ東部沿岸と日本北海道の西部海岸の諸港を不凍たらしめる言が日本某有力者の手によりてロシヤ政府に提案され目下勞農政府で考慮中である旨がつたへられてゐる

右案によれば露領北樺太と露領シベリヤの間に挾まる間宮海峽の最狹所パゴビ附近にダムを築造し北極洋より南下する寒流を阻止して日本海を暖流の北上にまかせてこれを温帶圏に入れ沿岸諸港を冬季も不凍ならしめやうといふので、その利益を享受する日露兩國で費用を分擔しようといふのであるが、右海峽の最狹所は僅四マイル、水深廿メートルで決して難工事ではないといはれてゐる

軍艦「長門」の軍機賣却事件

買つた外人が怖れをなし

京城で自首して事實暴露

軍艦「長門」に關する軍機漏洩の重大事件は當局で極祕に附してゐたが關係者の取調べ終了し一件書類は京城地方法院檢事局に送附され記事一部の解禁を見た

事件の內容は、元呉海軍工廠の製圖工してゐた宗正礎里、正谷川は京城府內で某外人に數回にわたり圖面を手渡しその代價として五万圓の要求をしたが某外人は事件の重大性を苦にして總督府外事課に事情をうち明けて機密圖を返却したため犯人は直に捕縛されたものである

事件は目下京城地方法院で取調べ中であるが、右につき呉工廠の總務部長武田大佐は語る

設計畫の眞疑はいまだ見ないから判からぬが進水後十五年を經過してゐるのを數万圓出す氣がぐれ者もあるまいと思ふ、工廠ではそんな重要な設計圖が紛失したことは全くなく、若し何か持つてゐるとすればつまらぬ部分圖であらう云々

軍機賣却事件
買つた外人が怖れをなし
京城で自首して事實暴露

石塚臺灣總督の辭職は既定の事實として朝野共何等これに驚くことなかつたが、それに連帶して人見總務長官以下多數の辭職者をだしたことは意外とされそれに拓相と總督の間に確執があつたゝめかく責任の範圍を擴大したうらみもあるので貴族院

臺灣事件につき

拓相を糾彈

貴族院の態度硬化

國債總額六十億

大藏省發表による昨年十一月現在の日本國債總額は六十億二千九百十六萬二千圓で內譯は

內國債
四●四六一●八三七●〇〇〇圓
外國債
一●五六七●三二五●〇〇〇圓

これを同年六月現在の六十一億五千九百二十八萬二千圓に比すれば約一億三千萬圓の減少である

新年三日景氣上々

昨年よりもずつといゝ

不景氣に暮れた昨年の後の今年の新年は正月も淋しく威勢はあがらぬと豫想されてゐたが、正月三日間の景氣はさう惡くもなく三日に蓋を明けた百貨店など來店人員昨年より四割方の增加で松坂屋では賣上口數も昨年同期より二割增しの景氣よさで織物產地が金融不安を一掃した上どんな底安が反撥氣運をほのめかし始めた爲め購買慾がそゝられたらしい、料理店やカフエーなども昨年より三、四割客足增加し酒の賣高案も外めざましかつた

鮮銀問題

ロシヤ側

多少折れる

交涉を再開

鮮銀事件につき外務省では廣田駐露大使を支店の營業ぶりをロシア側に諒解させ日露兩國に都合のよい組織機能で鮮銀支店が存續するやう交涉すること、納稅問題を鮮銀側に滿足なやうに交涉解することの命令をなした結果、廣田大使は元旦カラハン外交部長と會見し日本政府の意向を傳へたがロシア側も大體において妥協的態度をもつて交涉をすゝめてゐる模樣である

朝鮮の山奥に

輕銀が無盡藏

輕銀は內地には全く原料がなかつたゝ一ケ年一千万圓の輸入を見てゐるが、右輕銀の原料たるアルミセール、明礬石などが朝鮮には無盡藏であることが調査の結果判明したので總督府では今年度において輕銀鍛煉の實際的試驗をなし經濟的にはたして採算が採れうるか否かを試驗することとなつたが、ただし本年は宮中豫算の都合で御外遊の御遠慮を願ひ來年度に決定し直に實行することになつた

御皇族方の

外遊を制限

妃殿下を必ず同伴して

期限は一ケ年にかぎる

宮內省では皇族の外遊につきいまゝで御自由にまかせてゐたが色々御外遊中に面倒な事件が起きるので今後は一年御一方それも妃殿下御同伴に限ることゝし期間も一ケ年と制限するに決定し直に實行することになつた、ただし本年は宮中豫算の都合で御外遊の御遠慮を願ひ來年度に決定し直に實行することとなつた

重症の肺病も

注射で療る

京大の舟岡省五博士が

五年の努力で新藥發見

京都帝大醫學部教授舟岡省五博士は滿五ケ年の苦心の結果結核特効藥ヤトコニン（化學名六炭糖燐酸石炭）を發見した、同博士の專門は解剖學であるが骨の發育を研究してゐるうち偶然にそれと結核の自然治療の經過とが非常によく似てゐることを知り自然治療の過程にある結核の患部を調べたところ、發育中の骨と同樣はたして石灰質を盛んに沈著させて治療させることがわかつたので、理學部物理學教授吉田卯三郎博士の應援をもとめたところ同博士はアトムの配列からソレが一定の構造を持ち燐酸カルシユームであることを證明するに至つた、こゝにおいて可溶燐酸石灰を發明しコレを人體に補給すれば必ず結核の治療を早からしむるであらうといふ理論に到達し最近三、四年來急に研究が進み理學部化學研究室の小松茂博士、藤田愼三郎講師等の力を借りて化學的合成に努力した結果、絕對に水にとけないとされてゐた燐酸石灰をつひに溶解することを得、前記ヤトコニンの製造に成功したもので臨床的研究に資したが非常な好成績その効能の顯著なることが明らかになつた、施藥方法は隔日に〇、二五グラムを靜脈內に注射するので初期肺結核などは忽ち治療し重症の肺結核も五六十回の注射でなほり結核性ルイレキのごときも腫れのひくのが眼に見ゆるやうである

成功すれば我國の輸入防止に貢献するところが大いであらう

常の花引退

一戸大將と馬越翁立會で

れしまれながら斷髮の式

本年春場所も間近にせまり新番附が發表されたが横綱常の花は引退と決し一戸大將と馬越恭平翁の立會で斷髮式が行はれた

常の花は岡山市の生れで今年とつて卅六才、明治四十三年出羽海部屋に入つて初土俵を踏み大正六年入幕大正十三年來横綱を張つて今日に至つたものである

新切手發行

遞信省では來る二月二十一日から七錢の新切手を發行する事になつた、現在五圓から十圓までの小爲替料金は七錢で全國一ケ年に各郵便局で取扱ふ小爲替の數は約六百万に及び事務の繁瑣になやまされてゐるため新切手發行に決定したものである

尋人
長野縣
渡利あさ
明治三十一年一月生
右者ニ急用アリ本人又ハ知人ノ方ハ現住所ヲ當館迄通知アリ度シ
昭和六年二月二日
在バウルー
日本帝國領事館

尋人
熊本縣
岩崎隼人
二十三才
至急要談アルニ付當館ニ出頭セラル、カ又ハ現住所通知アリ度シ
昭和六年一月八日
在バウルー
日本帝國領事館

HOTEL SHIOWA
安くして、御便利の宿
ホテル昭和
館主 平藤作
ベンナボリス市カデヤ上側

Casa Hirata
Caixa, 47 Tel. 81
Promissão
ノロエスチ線 プロミツソン驛
反物 雜貨
平田商店
平田千喜藏
電話 八一
郵箱 四七

是非御家庭にお試し下さい
印醬油
富士山醬油醸造所
藤澤豊次郎
北西線カフエラエンダ驛

アラサツーバ市
ホルテ東京
吉田壽三郎

HOTEL JAPONEZ
S. Okiyama
em frente á Estação
Noroeste Baurú
御出芭の節は何卒當館に御投宿下さい
日本旅館
バウルー市ノロエステ驛前
館主 沖山心平

HOTEL
日本郵船會社特約乘船切符取次所
御歸國御乘船の方は出帆二日前にお出で下さい
Baurú 澤尾 バウルー驛前

○品質本位 ◎薄利多賣主義 ◎美味しくて割のきくお醬油は
黑島印醬油
クロシマ醬油醸造所
黑島伊平治
北西線プロミツソン驛セルチツペ街

米製焼酎
母國はかほり
四季醸造逼ク鴻公諸彥ノ需要ニ應ズ
や 醬油
安價提供
ノロエスチ グワランタン
讓造元 緒方龜彥

大阪商船會社指定切符取次所
聖市旅館同業組合
東京館 マウア街 仲村渠三郎 二九一
大和 コンセレイロ フルタード街二 坊迫健造
上地 ポニタ街一一 郵函一二二五 上地彌藏 電話 二——一九二一
ときわ コンデ デ サルゼダス街四一 石原桂造 電話 二——二六九〇
旭 コンデ デ ビニヤール街二一 秋田粂三郎 電話 二——一七八二
末廣 コンデ デ ビニヤール街一番C二階 中山忠太郎 電話 二——五六三八
小川 コンセレイロ フルタード街一六 小川源右衛門 電話 二——四四七

麻州 カンポグランデ市附近 一帶の邦人模様

最近同市日本人會の手になれる同驛附近一帶の邦人模様調査によれば左の如くである

昭和五年十二月現在

人口千二百八十六名（男 七百六十四名 女 五百二十二名）

獨立農四十九家族　土地所有高 千六百〇九エキタールヤ

珈琲所有本數 四十万五千本

借地農百十一家族

菜園 四十六家族　米作 二十一家族

雜農 四十八家族　コロノ二十六家族

レンエイロ三十一家族　市内家屋所有數二十九軒

職業別		職業別	
精米精カフエー	一	菓子製造	四
ピンガ製造所	四	カミニオン運般業	四
ラバトユーラ製造所	三	客用自動車	一
オタル	二	玉突屋	五
寫眞館	二	荷馬車	二
商店	八	家具工場	二
理髮所	一〇	鍛冶屋	一
洗濯屋	四	大工	二
藥屋	一	左官	一
マカロン製造業	一	ピントール	一
		歯科醫	一

伯國（ブラジル）銀行の缺損 二拾万コントス

約四千万圓弱

現假政府は特別會計檢査委員を設け前政府時代の暗き國庫不仕末を明るみへさらけ出して居るが、その一ツの檢査事件として伯國銀行の缺損額二拾万コントスの行衛を精査中である

此の莫大な金の行衛は大方聖州珈琲調節局組織への融資とねらまれて居るが、何分今以て此金の引渡狀樣な証據書類が見當らぬので尙探索中である由

伯國內地 郵便料金が 二百レースになつた

最近封筒手紙一本につき三百レースの郵税を拂つて居た処、去る二月始めより以后二百レースの印紙税となつた

（パガキは百レースに）

コーヒ一杯二百レースが百レースとなつたと同じく不景氣が愈ドン底へと來た徵象と見てよい

支那なら馬賊の カンガセイロ ランピオン 征伐に

内務司法兩大臣を兼ねて居る

オズワルド、アラニヤ氏はカルロス。シエバレル大尉に二百名の兵と飛行機二台をつけてカンガセイロ、ランピオたる伯國北部の有名な匪賊征伐を命じた

「ランピオ」の名によつて伯國北部の女小兒は多年如何に恐怖しつゝあるかは……支那なら滿州馬賊を偲ばせるものなり

政府當局の 新勞働時間

政府各官衛は新勞働時間を午前十一時より午后十八時迄卽ち七時間と制定した

革命成就當時は朝六時から夜の十二時迄も、詰めに詰めた各官衛の勞働勤務振で、さすがに復興のブラジルを想はせたが愈一日七時間勞働振りとなつた

失職から 都落ちの人々

伯國勞働大臣リンドルフ、コーロル氏の國民擁護會長へ通知した數によると、勞働局の手を經て都會の失職者が都落ちし田舍に行つた者が昨年十二月中に二千二百八十六人であり、本年一月中に二千六百九十六人あつた、去二月一日から八日までにも五百拾三を數ゑて居ると

汎米祭日四月十四日

伯國假政府首領は四月十四日を以て伯國は汎アメリカ祭日と認定し、此日は各公共團體學校其他一般はアメリカ大陸の國民協調日として祝意を表し休暇をとると法令を發布した

珍らしく 家が丸燒けで

着更ゑもない

佐藤氏一家

去一月下旬マトグロッソ州カンポグランデ市外二十餘キロのブラコンに住ひ佐藤清義さん一家は夢安らかに結びし頓みの家屋を一夜の嵐にさそはれた失火から家財道具一切丸燒きにしてしまつた

信子夫人は先祖代々傳はるゝ母の形見のお小袖も灰にしてしまつたのでヒカーン中である由

因に佐藤清義氏は例の沖縄縣人呼寄証明顚一件で前多羅間領事と喧嘩兩成敗になつた有名な男である

最近爲すことする事にケチがついてヒカーン中の人である

ビリグヰの原野に 百花咲き乱れる！

スポーツの殖民地!! ビリグヰ

植民地最近の運動熱は實に華々しい發展を來たし、本月二十二日（日曜日）を劈頭に三日間擧行される桑伯國ラグビー大會をはじめ十五日は新鋭を誇る野球部主催にかゝる同地吉井氏寄贈の優勝旗爭奪戰を兼ね、來る四月中旬同地に於て擧行される汎ノロエスタ野球大會第一戰選とも云ふべき野球戰を開催するといふから雄々しいスポーツマンの力戰奮鬪は宛然ながら百花咲き乱れる觀を呈するだらう

チエテ殖民地 事務所の緊縮振

祖國の不景氣は遂にチエテ殖民地に影響して來た、去る一月末同殖民地の製材場が緊縮の第一線にあつて閉鎖された結果、同製材場主人野間常夫氏は同地を引上げイタケーラの邸宅道子夫人の愛の巢に移つた

第二アリアンサ 前鳥取協會理事 歸國す

北西線ルツサンピーラ驛奥第二アリアンサ殖民地たる鳥取協會前理事後藤侃司氏は殖民者と軋轢が益烈しくなり殖民地にも居たまらず遂に一家ごぞつて歸國する事になり、既に先日三日の商船で出發した

雪の日本 寒さの日本

被害頻々

先週中の日本の降雪は近年稀れな積雪振で、北海道やアカシリ湖から中部東京附近山陰道にかけ鐵道船舶の遭難事件頻發し人命の損傷も尠からずあつた模樣である

パナイ汗愛實踐 青年團 組織さる

曩に日本人會の設立を見しリンス驛パナイ植民地では、日本人會後援の下に青年團創立の議起り青年中より甲斐隆久、佐藤安記、隅久の三名を創立委員と選して團員の勸誘や家長との諒解を得る爲に奔走せし所意外の好成績を以つて勸迎され、去る八日青年の總會を開き團則の逐條審議役員選擧その他創立に關する二三の必要事項を協議せるに一人の異議者なく卽日發團式を擧行した、日本人會側よりは幹部全部の出席あり交々起つて希望激勵の演說があり、青年に非常な感動を與へた、次に甲斐創立委員代表の謝辭があり、古澤青年團長の就任挨拶があつて最後に佐藤日本人會長より時間勵行に就き深長な注意があつて閉會した、非常な盛會で辯論大會の感があつた

名稱が示す如く、勤に從い勞に服し公共の爲は犧牲を提供して人類の發展に貢献したい精神から出發し、團長一同は結束益々堅く意氣愈々昂し、顧問としては當區の重鎭佐藤一郎氏が推され選擧されし役員の顏觸れは團長古澤典穂、副團長松谷勝三、會計樋口次郎、理事梅原敬三郎、仝平見村雄、仝笹目勝衛、仝土井公男、運動部長相原良雄、圖書中村利作、外交藤原哲夫、演藝井上義一

內會計は當選せるも旅行中にて諾否未定

北米海軍の大演習

一三七艦二七三飛行機で パナマ地峽を越え太平洋で

●假想敵國は日本として

北米海軍は年來の希望であつた海軍の大演習をパナマ地峽を越ゑ太平洋にて强行する事になつた、赤白の攻防二軍に別れ一三七艘の艦艦と二七三機の水上飛行機とが對抗大演習を行ふ。場所は中米に近き海上、海戰期日は二月十一日より三月二十四日迄の長期日である

假想敵艦隊が日本海軍の艦隊であるは云ふ迄もない事に推される

イネマ殖民地便り

グランタンリン驛イネマ殖民地

は開殖當時の家族數より三倍の增加を見從來の習慣生活にては統制困難なるに鑑み、去る一月三日同地小學校に殖民者父兄集合し協議の結果父兄會々起し役員選擧の結果左の諸氏當選就任せり、尙就任年限は一ケ年とす

△父兄會長松岡健太郎△副會長兼會計品川末市△議長兼學務委員村上幸左工門△衛生委員品川末市△井上龍吉△土木委員馬本銀助△大野篤太郎△經濟委員松岡健太郎△飯田來△節約部村上幸左工門△竹城秀繁

アレグレ會 定期總會

過般一月五日正午より定期總會を小學校に於て開催會集者八十餘人、會長の挨拶に次いで一般會務報告及會計の會計報告あり更に本年度役員の改選を行ひたる後本年度の豫算案及諸般事項の討議に入り、相互熱心なる討議の上午後六時盛大裡に閉會す、因に本年度選擧されたる新役員顏觸れ左の如し

△會長磯崎時佛△副會長兼會計清水健三△區長大森角之助△仝森正平四郎△副區長重万藏△仝松本由松△評議員石田治義△岩本良春△末次賢七△野村喜次郎△荒木熊市△荒木松助△笹澤豊△西島義正△安澤宇平△谷口玉之助△衛生委員△天野甫作△中田久吉△谷本實△コルゴセヲカ區學務委員葛龍長一△奥火留市△能島金藏△コルゴビスポ區學務委員大澤市太郎△益成淺一△谷本實△矢口門三郎　以上

紀元節拜賀式

去る十一日リンス學園に於て午前九時より紀元節拜賀式を擧行した、尙式後父兄懇談會を開き子供の躾け方に付打合せる

マリリヤ驛奥 パウリス興農園 青年團生る

去る二月一日團員相互の心身の修養並に親睦を計り兼ねて日伯親善に資し廣く社會奉仕に任ずるを目的として團員卅二名よりなるパウリスタ興農園青年團發團式が行はれた

先づ發起人を代表して橋田富一君開會を宣し青年團創立の趣旨をのべた、「吾々青年が時代の要求に目覺め孤立無援より脫して大同團結に力を入れ今日青年團の創立を見た悅び云々」と拍手の裡に降壇して、議事進行講長選擧して橋田君當選直に團則討議に移り第九章二十八條の團員△團長大家直△副團長橋田富一△會計田中立夫△衛生委員立井三郎△郵便委員森部定造△アンデス區幹事中村達士△セントロジヤマンテス區幹事羽賀大吉△バンデイランテス幹事高山一

贊助員五名全興農園內に於ける青年指導者と見たる人を選ぶ事にし各區幹事これが諒解の任に當る事にし新團長以下役員の就任挨拶あつて後盛會裡に夕暮近く閉會した

二世の獨立農業家 やりかたで益々有望

打ち續く不況に悲觀者も出る

第二世青年うちに獨立經營で農業をする者が各地にボツ〳〵起きて來たが、昨年かけての農產物價底なしの低落にみぢめな滑れ方をするもの少からず、第二世の農業界への進出にくらい影を投げかけ、これでは將來ものになるまいといつた悲觀論さ〳〵有望ではあるが、此點よく注意して第一世は繼續者に對し親切に指導し二世は一世と協力しあつたら斯樣な例は少くなるものと思ふ

もんてびでお丸 延着

二月八日サントス着の豫定である「もんてびでお丸」はアフリカ、ダーバン港に於て外國船と衝突船首微さか破損し修繕の爲め延着、明十五日サントス入港の由

のんだくれの爺さま 靜かに逝く

昨年八月渡伯以來北西線に入り込み、アリアンサ殖民地やチエテ殖民地、アラチツーバ、ビリグヰ、プロミツソン其他各驛殖民地間を、お說敎したりのんだくれたりして廻つて居た大分縣人の小川清秀爺（五七）さんは、先來パウルー市のサンタカーザに齊藤ドツトルの厚意で入院、アルコール中毒と腎臟炎を治療中の処壽命が來たのか、去る二月一日遂に大往生をした、遺骸はパウル市共同墓地に埋葬した

お芽出度

カンポグランデ市外マツト、セグレツト耕地安谷屋龜氏宅には去る二月三日男子出產母子共健在のお芽出度があつた

法名の事について

安田生君に答ふ

リンス驛パルポウザ 岡田英定

死人に對する兄の心盡しの程は、只敬服の外はありませぬ。私の知る所では、法名は仰せの通りの一箇寺の住職以上の坊さんが、つける例になつて居る樣であります。ですからこうした所で死人が出來た場合には、正しくは國許の寺に知らせてやつて、法名を受けるのが當り前だと思ひます。若しそれ迄も法名がなくては七日七日の佛前何となく、物足りないと思はるゝなら、既に俗界を脫して御淨土へ參られた佛樣の事なれば、佛名と南無阿彌陀佛そのまゝを。亡くなられた方の法名とあがめられて宜ろしかるべきかと存じます。

次に法名を有たない者は、冥土で証標を持たないものとして通さないとか。又佛飯は死人の御判を受けに行くときの畫飯だなどとの傳說は。私の今日まで未だ讀んだり聽いたりした覺ゑがなくては、法名無い所です恐らくは迷信から出らば、既に俗界を脫して御淨土へ參られた佛樣の事なれば、佛名と南無阿彌陀佛そのまゝを。亡くなられた方の法名とあがめられて宜ろしかるべきかと存じます。

次に法名を有たない者は、冥土で証標を持たないものとして通さないとか。又佛飯は死人の御判を受けに行くときの畫飯だなどとの傳說は。私の今日まで未だ讀んだり聽いたりした覺ゑがなくては、法名無い所です恐らくは迷信から出らば、既に俗界を脫して御淨土へ參られた佛樣の事なれば、佛名と南無阿彌陀佛そのまゝを。亡くなられた方の法名とあがめられて宜ろしかるべきかと存じます。

猶その他の事については、直接御目にかゝつた上で、御話申上げたいと存じますから。御差閊ありませんでしたら、御住居御知らせ下さる樣希上ます。

仍て簡單ながら御答へまで

日伯シネマ社へ 新映畫が到着

去る十一日當市日伯シネマ社（別記の新映畫が到着した、十二日同社に於て試寫したる處復興大東京の盛觀及大阪市大觀と昭和聖代の偉觀である大觀兵式と大觀艦式は一般人等に紹介したきものである。同社には近日大阪毎日新聞社から現代劇「新聞時代」が到着の由であると近日マリリヤ劇場に於て上映の由

カルナバル

例年の謝肉祭も本年は十五、六、七の三日間で餘す処二三日目前に迫つたが、現下の不景氣では例年の樣な賑いもあるまいが、氣の早いパウル商店の陳列棚には、一週間前から安い香水セルペンナーナの陳列がしてある。尙祭日當日のパウル自動車賃は一時間五十ミルレースだと

エロ醫者。菊地さん

日本ではもてるが

左の一文はサンパウロ在住某女史が母國「植民」社に送つた通信の一部である、讀んで宇の如く。おだても大概にして居て貰ひ度い

「地方を知らぬ私の爲に特別にレヂストロ行の機會を與へて下さつた中島氏御夫妻と、特別の好意で私を同地に伴つて下さる菊地ドツトル御夫妻と記感謝しつゝ　中略……

サントスからジユキヤ迄の薪を焚いて走る汽車の中で、菊地ドツトル御夫婦は私にレヂストロの概念を與へて下すつた、舊い植民地で大分文化的なこと、電燈も引けること。精米所、醫局、學校——設備はいづれもよく整つてゐること植民者達は大抵十年以上入植してゐる人々のみで、生活も餘裕があり、皆が自治的に生活してゐること——クラブや寺院もあること——等々前方の汽關車から時々火の紛が散るので私は山火事を案じた

あはれ蕾のままに

北西線リンス驛奥上塚第二植民地羽高植藏氏長女美千代（十三）さんは性來が弱い性にて父母の慈愛心一層深く育てられつゝあつたが、先來臥床につき海山の藥も効なく去る二月五日午前二時あはれ蕾のままに散つてしまつた

長女 美千代 儀 永ラク病氣ノ処自宅養生中藥石効無ク去ル二月五日午前二時死去致シ候ニ付葬日ゴヤンベー共同墓地ニ埋葬致シ候間此段生前厚知誼賢ニ謹告仕リ候

リンス驛上塚第二植民地

父 羽高權藏
母 同千代子
植民地友人一同

兎の耳

親が子を叱るのもあまりいゝことではないが親が子から叱られてばかりゐるのも甚だ感心しない、ブラジルに住む日本人の家庭で氣をつけなければならぬのは、前者でなくて寧ろ後者ぢやあるまいかと思ふことがよくあるがこれでも親としての面目があるかどうか

御禮

私事、先來マトグロツソ州ノロエステ沿線旅行中の處、去る十一日恙なく歸社仕候

該各地に於て知友又は、未知の諸君より一方ならぬ御便宜と御高配を忝けなくし、深く感銘茲に歸社に際し不取敢紙上もつて御禮申述べおき候

聖州新報社長 香山六郎

在マトグロツソ 邦人諸君

謹告

新映畫到着

一、復興の大東京
二、大阪市鳥瞰、神戸港
三、瀨戸內海の夕照、安藝の宮島
四、鎌倉、江の島、別府溫泉
五、昭和聖代の偉觀

大觀兵式 大觀艦式 其他數卷

大阪毎日新聞社原作、日本活動寫眞會社製作

現代劇 新聞時代 近日到着

二月十三日

日伯シネマ社

坂東伏合陣 (20)

腰から拔いて、壘の上にビシリと鳴らして置いたのは妻白の折矢、兩人の顏にさっと一時血の氣が失せたが、兄の大學は剛ふくだけに、微かな苦笑に口を歪めて云つた。

「それが何としたと云ふのだ。苟めにも武士の家へ矢を射込んで、其方から苦情を持ち込まれる覺ゑはない。」

「吐ざくな。左程の權識があるなら何故下郎などを相手にせず自身此の矢を持つて堂々と掛け合ひに來ない。それは可い併し、勘辨ならないのは此の折矢だ好くも士足に掛けて折つ撓ッたな。」

「默れ、そんな事を吾々が知つた事か矢を折つたのは仲間の仕業拙者達の構つた事ではないわ。」

「うむ、その下郎の重太とか云ふ者、早速これへ呼んで貰ひたい。」と盤石のやうな先之助の態度に、黑川兄弟も挺子でも動かぬ奴と見たから不承々々に、重太を呼びつけた。

「へ、へい……何か御用でございますか。」

と重太は壘を踏まずに、閾の外、板廊下に蹲ゑ張る。先之助はづいと一膝乗り出した。その眼光に壓されて、黑川兄弟は席を左右に開いてしまつた。

「折助、貴樣が重太といふ奴か」

「そ、さうです。俺が仲間の雷太でございます。」

「偖や可哀さうな奴だ、本來なら、家來の罪は主人が被つてやる筈だのに、貴樣は腰拔け武士を主に持つた爲め、他人の罪まで背負つて土壇場に引き出された。」

「へい……」重太には鼓までは何を云はれてゐるのか見當がつかない樣子だ。

「分らないか、拙者の今云つた言葉が解せないか。では、判り乎云つてやる。貴樣の命は乾先之助が貰ひうけたといふことだ。」

「ねッ。」と重太は思はず逃口を見廻した。

「立つな、動くなッ。逃げる所は斬り好いものだぞ。先づ其の前に一言云つて聞かしてやる。こゝに有る此の矢を見ろ貴樣は之れを士足にかけて踏み折つたそうだな。

「……」

「好くやつた。貴樣の主人には其れ程の度胸すら無い。併し其の鏃二寸上りの矢骨には苟にも拙者の大恩人、園部賴母正安の名乘り迸まで彫つてある武士の表道具、將軍鷹狩の節にも一の矢の譽をとつた御奉公道具だ、それを士足で二つにされては叔父上の武士道が立たない、その爲めに居候の先之助が下手人の首を受け取りの使に來たんだ。重太ッ貰つたぞ。」云ふが早いか左脇から拔き討ちに飛んだ一閃の銀蛇乾先之助の片手伸ばし。

「わ――ッ。」と重太が斷末の一叫び、サ、ヽ、――と障子を走る血飛沫の時雨、

「それッ佐仲。」と黑川大學の險しいめくばせをうけて突立つた黑川佐仲は物も云はずに先之助の後袈裟を狙つて、エヽ――ッとばかり一刀微塵に斬り下げた。

「來たか――」咽嗟の片身外し、颯と前にめり流れた佐仲の一刀が壘を辷つた時、もう柄手は先之助に掴まれて。同時に足を抄つた筋斗の上へ、磐石の腰を乘せつけて置いて、直ぐ一刀を平青眼に、兄の大學へ構へをとつた。

その太刀はづし、手繰込み、構へなどが、殆ど一瞬のうちの眼にも止まらぬ早業だつたので黑川大學は佐仲に續いて短劍を拔き拂つたが、つけ入る事もできないで唯眞ッ向に揮り被つてゐる。

「大學ッ。そんなヒョロ構へで人が斬れる心算か。いやさ人を斬る劍法を知つてゐるか。その太刀が拙者の鬢つの毛一本でも掠るうちには、尻の下敷も貴樣の命も、一刀の下にする位な藝はこの先之助には易いことだぞ。

「ひ……」と先之助の切尖からうける不思議な劍の魅力とでもいふやうなものに衝たれて、微動することが出來ない黑川大學は、矢庭にがらりと太刀を投げて、彼の前にひつたり兩手を支いて了つた。

間もなく、黑川大學の門を、悠々と出てきた者は、思ふ存分な報復した上に、後の憂慮のない手形まで取つて歸つた乾先之助である。

またいく星の明りに、先之助の黑い影は賴母の屋敷の表門を素通りして仲間部屋の出窓の下へ來て蹲踞みこんだ。

鉦之助はそこで、小脇に抱へて來た重太の首を地に置いた。

そして黑川大學佐仲の兩名に、連名で書かせた詫證文を、結び文のやうに生首の、もとどりに括りつけて、仲間部屋の出窓に乘せて置いたまゝ、何處ともなく姿を消してしまつた。

それから半月ばかり後、下總の銚子の町に何日もの姿に編笠だけを被つた乾先之助の姿が見出された。

彼が銚子へ來たのは云ふまでもなく上毛の深嶽で誓ひをした風窓の半次といふ者の手から、劍道に精進なこと、決して人後に落ちない此の男にして、彼の針屋の半次にだけは、一杯食はされたのだ。併し、先之助は飽まで彼の時の言葉を信じて、此の銚子の長脇差の中に風窓の半次といふ者を尋ね當てる心算で來たのだ。

「はゝあ、此家かな？……」と先之助が立ち止まつて、編笠の目關から見廻した家は、船着場から敎へられてきた。舊銚子の五郎藏の家で、今は長指の由藏といふ乾分が跡を繼いでゐる荒格子の前だつた。

「些ともものを訊きたい。ものを訊ねたい。」

「何だい？」と先之助の聲に應じた返事は、媚いた女の聲で、中から荒格子を開けて、

「おや。何ぞ御用でございますか。」と侍と見て急に言葉を改めた。それは長指の女房らしい年增であつたが、恰度そこへ行商に來てゐた針賣の老爺と世間話の茶を啜つてゐた所だ。

「當家で聞けば、必ず分ると敎へられて參つたのだが、此の銚子に風窓の半次と云ふ長脇差が居る筈、何處であらうか、知つて居まいか。」

「そりや此処じやあどざいませんや。」

横から、笑ふやうに口を出したのは、その針商の老爺の方だつた。

「風窓の親分なら私の隣付でさ。他にこの下總上總で風窓といふ親分はゐないな。姐さん。」

「さうですね。お尋ねの方でしたら、矢つぱり此処ではどざゐますまゐよ。恰度この老爺さんが、これから其の小船木へ歸る所ですから直ぐお尋ねになるなら御一緒に出なさつたら何うでございますね。」

「さうだ。私の樣な者でも、案内にはなりますから何ならば お供いたしませう。」

「忝ない、では老爺行つてくれるか。」

「どうせ近い村へ歸るんでございますから、お氣兼には及びませんわい。では姐さん、大きに有難うございました。」

老爺は桐油掛の荷を背負つて先之助の前をとぼ〳〵歩きだした。そして三里近くある小船木には未だ可成り陽の高いうちに着いた。

「どうせの事ぢや。風窓の親分の家まで御案内しませう。」と鰐て連れられて來た門口に立つてみると、相當な貨元と見ゐて、二三人の乾分が、せつせとそこらを拭き磨いてゐた。

「親分はお在でございませうかな。」

「おう利兵衛さんか。親分は居るぜ、何だい。」

「このお侍樣が、親分を尋ねて居るのを、チウ子から御案内してきたのさ。」

「ヘーエ……？ 家の親分にかい。」と乾分たちは見慣れぬ侍の姿に怪訝な顏を寄せ集めた。

「かざまどの半次と云ふのは、當家だな。」

と先之助は一應自身で乾分に斯ふ確めて置いて。

「江戸から參つた、乾先之助と申すものだ。取り次いでくれい。」

と編笠の紐を解きはじめた。

「さうですか、兎に角さう申しやせう。」と乾分が奥へ駈ゑんで報らせると、直ぐ取つて返して先之助を招じ入れた。

利兵衛と呼ばれた老爺は、此家の者とは懇意だと見ゐて、其儘

婦人の讀物

愛子のしつけ方

メニーナの危險期と母親

メニーナに對して夢中になつてしまふメニーナがゐますが、この時代がメニーナに取つて最も危險期にあるのです、人々に依つて人生の經驗は各々異なつてゐますから、その經驗を一概に論ずることは六ヶかしいのですが、先づ母親は自分の經驗から メニーナのこの時代とを聯想して充分同情ある意見を抱いてやる必要があるのです、すべてのことに注意を拂つてゐた時が若い時代で最も順調に進んでゐたことを承知するでしよ

メニーナには家内勞働を嫌ふ時があります、又責任のある仕事を嫌ひ、自分の頭のうちには メニーノのことばかり浮んで他の何事をも心にない時があります、ある母親は正直にかう自白してゐました。

「かような危險期には、私の賢明な母親は常に私の傍にあつて靜かに忍耐强く、思慮深い注意を怠らず、安全に私を導いてくれました。その當時のことを思ふと、私はテンポを失つたのが殘念であり、高き理想の欠けてゐたことを遺憾に思つてゐますしかしたゞの一事だけは大いに感謝してゐます。この一事とはノーナも私がかつて經驗したと同じ經驗をなめてゐることゝ從つてこの危險期より立派に離脱して必ず善良有爲な婦人となるといふことです

メニーナは自分の責任を自覺するやうにならなくてはなりません、そうして人生は愉快な面白い時代ばかりでないことを記憶しなくてはなりません、メニーナに對して說敎ばかりしても効力はなく、小言ばかり云ふのも能ではなく、又罰則を加へた所で本當に覺醒さすとはいひません、れ互に高き力の源を究めての力によつてメニーナの生活を敎化する必要があります

親等は常にメニーナのなし得る所や、またなさうとしてゐることに對して充分寛大にこれを認めてやり、よい所があればドシ〳〵そのよい所を勵ましてやります。欠點に對しては常に寛大の態度を取り責るのをもつて能事とするのは禁物です

メニーナが非常に感心するやうな態度を持し、これを眞似させる必要があります。そして常に個性を發揮して感化するとこに努めてゐるとメニーナが如何に感覺性に富んでゐるかによく氣付くでせう

大衆操情的教育と樂誤へとの尖端を進精する

吾社巡回映寫部を御利用下さい

松竹 日活 東亞 ウファ の新映畫續々到着

日伯シネマ社

商工展覽會 金メタル受領

Marcenaria JAPONEZA MASSAGI KOGA BAURU'

バウル市ワシントンルイス街六ノ三（シネマ前）

古賀政治

▲電話 三四〇

家具 製造 賣販

美味しくて安價なる 德用麵類は……

日本製麵所

城間經營

リンス 郵函 二〇三番

Dr. H. Saito MEDICO

士學醫 等藤齊

街ヤレンデイフンコンイ市ルウバ 五三……六

御料理 つるのや

聖市コンセレイロ フルダード四三

すし うどん そば 御料理 あをやぎ

コレデ 坂上三十三 電話二……一九四八

BAR ETTO

家具類勉强します 江藤バール 江藤子之八

ビリグキ ベロンドリオプラット

CASA TOKIO

商家具材木 京東ザーカ

アニニジエフロ、ダンテ市聖 一十助之芳本杉

CLINICA DENTARIA KAMEKITI YAMAMURA

Caixa 101 Rua Uruiunga Pennaqollo

醫科齒許免國伯 院醫村山

市スリポナンペ 街ガンタルウ

眼科專門醫 憲藤加

リンス市ガスイル市スンリ 八五街

難病者の福音

神經痛 關病 脚氣 ウロチス 貧血 腎病 ルイレキ 脚臼中風 子宮 淋病 マレリタ アイーベ 腰痛 肩痛 神經衰弱 婦性 淋病

針灸 溫灸 療法 マッサージ術

川原療院

リンス市 ビラアメリコ 入院を諸します

Dr. k. DAIAN MEDICO-OPERADOR PARTEIRO ARAÇATUBA

內科 外科 產科 婦人科 電氣治療 ドクトル 大庵喜八

北西線アラサツーバ 大厦兄弟商會裏隣

Casa Parana CAIXA, 103 DUARTINA

內外商品 小間物 農產物仲買 カーザパラナ 安元商店

パスレル棉花會社 理人代 安元青太

バ延長線ドアルチーナ驛 郵函 一〇三番

Casa Sato ARMAZEM E HOTEL Pennapolis

▼穀物仲買▼內外小間物 聖州新報 其他一般郵便物取扱所

並に 佐藤商店 日本旅館

佐藤常喜

ペンナポリス驛 ワシントンルイス街 郵函 一〇一番

リンス市ルイスガーマ街（須賀山商店隣り）

矢部洋服店

◇御希望の方には洋服裁斷法を敎授致します◇

今度右の所に店舗を構へ（格價低廉ざんの新流行型仕上拙速を主とし精々勉强仕上候間何卒御愛顧の程奉願候也

HOTEL Yamamoto

▼親切と清潔本位で

旅館 本山政義

ビリグキ驛パンロンド リオプラット

街コンクブオ 郵函……三九四番

御便宜を取計ひます

內外小間物 農產物仲買

吉田兄弟商店

驛キグリビ線ノエロ 郵函 二七二番

○內外商品○小間物 ○金物○農產物買入

CASA Ichinose Araçatuba

一ノ瀨商店

驛チアラツテ線ノエロ 一ノ瀨勘助

Casa Kagueyama

▲自動車運搬業 ▲內外雜貨 ▲農產物仲買

影山商店

影山博史 バウリスタ延長線 ペラクルス驛前

記念には寫眞 撮影は本田館 場所は リンス驛

Hotel FUJI Araçatuba

ホテル兼運搬業 御旅館 不二

アラサツーバ市驛筋 郵函 二〇八番

朝晩の御食事おいしくて御安く差上げます。

バール つち屋

御希望のお方には旅館も店の方も相當價格にて讓ります

リンス市 ルイスガマー 郵函二〇三

BARMiCADO Caixa 401 Biriguy

バール ミカド

山內一久

ビリグキセッチ、デ、セッテンブロ街（兩シネマ館中央） 郵函 四〇一

東京式製菓 横濱堂

北西線プロミツソン驛セルヂアベ街 岩城富士作

北最新式治療 米 齒科醫 山中信一

北西線リンス驛リオ・プランコ街二五

△最新式設備を以つて一般治療に應ず

向井齒科醫院

プロミツソン驛プラサ、プリメーロデ、マイオ街 郵函 九七

FERRARIA de T. ONISHI -- LINS

自動車修繕 電氣器具 諸機械（繕）

大西鐵工場

リンス驛九月七日街（つちや前）

△內外雜貨 小間物類

青木商店

北西線リンス市公園前 郵函拾七番

△內外雜貨 △小間物 △農產物仲買

竹內商店

ペンナ驛カフエランヂヤ町……郵函一二四 竹內豊次

雜貨小間物 穀物仲買

上田商店

バウリスタ延長線ガルサ驛前

熊本旅館

北西線アラサツーバ 郵函 二〇三 田ノ上熊吉

△親切にして清潔本位

Casa Yida H. YIDA Promissão,

○○○內外雜貨 小間物類 其他一切

飯田商店

プロミツソン驛前 飯田彦光

Dentista M. IRIE Cafelandia Penna

最新式設備 技巧優秀

齒科醫 入惠正行

カフエランヂア驛（川尾旅館隣）

藥局（モデルナ）

藥劑師 中須矢吉 リンス市ルイス・ガマ街四二

調劑正確 敏速廉價 藥品豐富